

# 自然エネに理解深める

## 高校生対象ワークショップ

応用物理学会

環境エネルギーに関する高校生ワークショップ(主催・応用物理学会エネルギーシステム研究会)が28日、宮古工業高校で行われた。自動車機械システム科の生徒25人が参加し、自然エネルギーの利用や地球温暖化などについて理解を深めた。ワークショップは今後伊良部高、宮高、宮総実でも開催される。

同研究会は、2013年度から毎年宮古で活動を実施。地域貢献したいことを市に相談し、ワークショップが開かれることとなった。持続可能な開発目標など今後の国際社会の潮流を知ることや、進路の選択肢を広げる機会にすることを目的としている。

理化学研究所の藤井克司さんと小池佳代さん、琉球



藤井克司さん

大学の中川鉄水さんと福本晃造さんが講師を務めた。宮古島の現状と環境エネルギーについて、生徒たちからグループ討論をさせながら講話を進めた。藤井さんは「今後の地球は美しいままか」などと質問。生徒は「地球温暖化が進み、住みにくくなる」などと回答した。



生徒25人が参加して行われたワークショップ=28日、宮古工業高校